

2017年度 環境活動レポート

(2017年4月～2018年3月)



戸出化成 株式会社

2018年 5月



内なる和

社内にあつては、喧々譁々たる議論を尽くすも、相互信頼の基に一致団結した行動を尊ぶ角ばった和

外なる和


社外にあつては、礼節を重んじ、お客様、協力会社、地球環境、地域社会との調和・協調を尊ぶ和

1. 経営理念 「つづけよう！かかわるすべての人々に感動と安心を与えることを」
2. スローガン 「私たちはプラスチックに魅せられた夢集団」
3. 品質方針 「当社は、適用法規、規格及びお客様の品質要求を常に満足し、高品質の金型とプラスチック製品の製造販売に、全社員の総力をもって取り組みます」
4. 環境方針 「当社は、事業活動において“環境関連規則の遵守”と“グリーン調達”を基本とし、地球環境負荷の低減に、全社員の総力をもって取り組みます」
5. 安全衛生方針 「当社は、人間尊重を基本理念とし、健康で災害のない明るく快適な職場づくりを目指します。」

2015年10月1日

戸出化成株式会社

代表取締役社長

高畑敏夫 

□ 会社概要

(1) 事業所名及び代表者名

戸出化成株式会社
代表取締役社長 高畑敏夫

(2) 所在地

本社 富山県高岡市戸出西部金屋414
西工場 富山県高岡市戸出西部金屋125
砺波工場 富山県砺波市東石丸424-1

(3) 環境管理責任者

専務取締役 高畑周作

(4) 事業内容

プラスチック製品の製造及び販売

(5) 事業の規模

社員数 97名（関連会社含む）

主要生產品目

- ・住宅・ビル用建材
- ・自動車関連
- ・電気電子部品
- ・その他

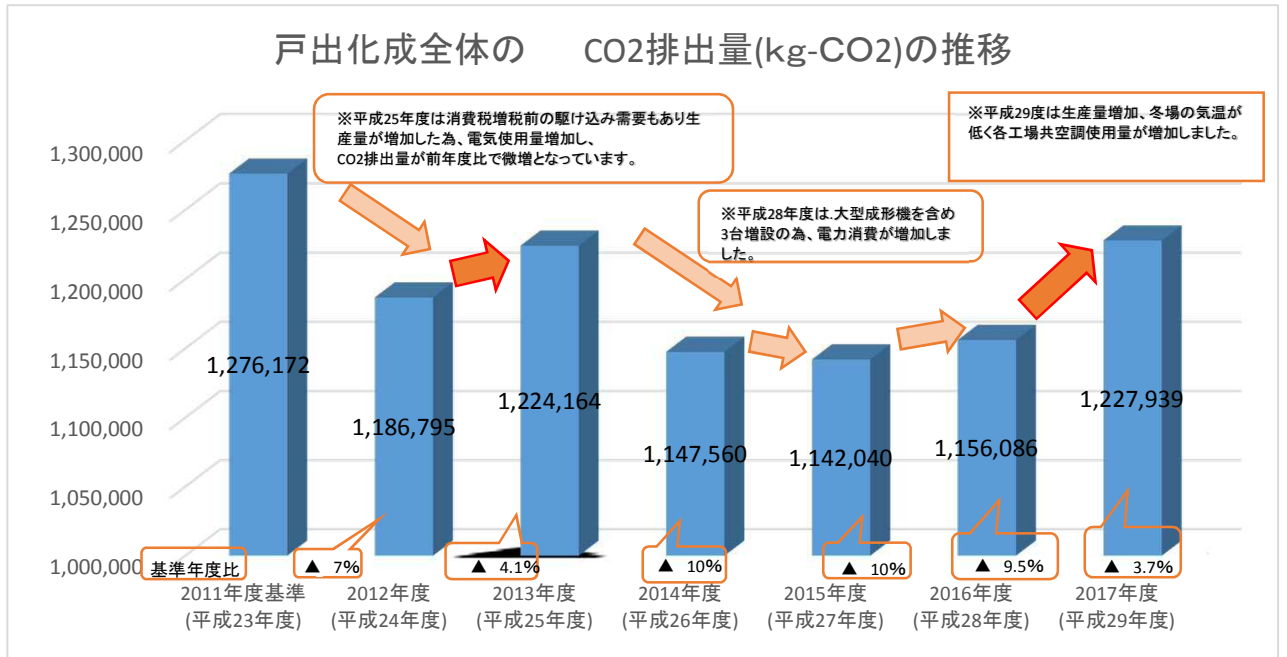
主要設備一覧

	機械名	台数
1	射出成形機(30～560t)	52台
2	2色成形機	1台
3	専用各種自動機	-----
4	コンプレッサー	5台
5	旋盤/フライス盤/平面研磨機/精密溶着機	各1台
6	3次元測定器	1台
7	マイクロスコープ	1台
8	3Dプリンター(硬質ABS/軟質ゴムライク)	各1台
9	CAD	2D/3D

(6) 事業年度 4月～3月

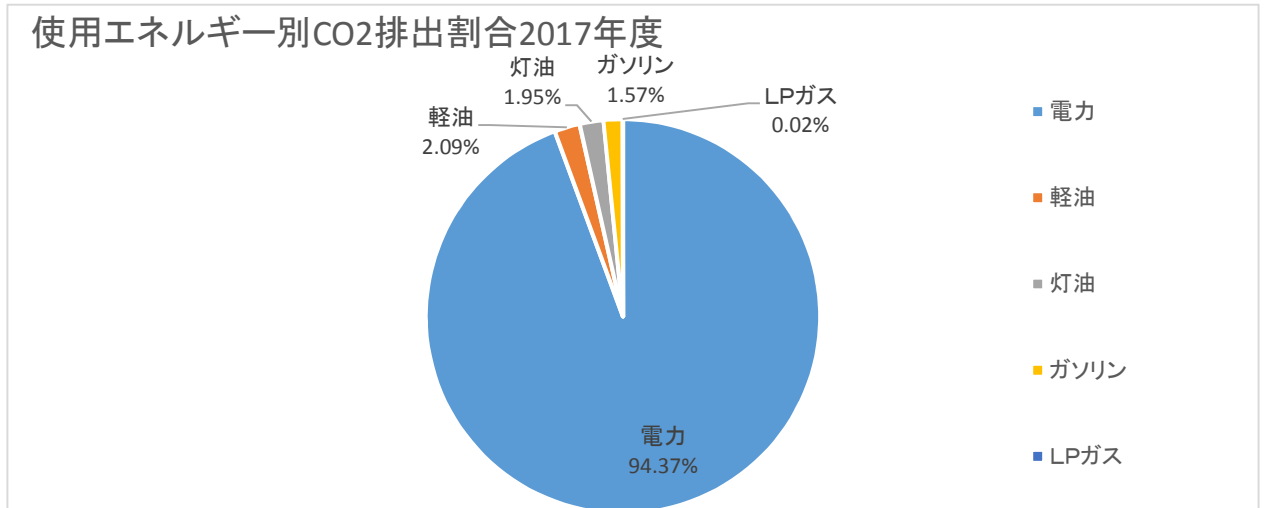
□ 主な環境負荷の実績

過去7年間の実績を以下に示します



戸出化成全体のCO2排出量(kg-CO2)の推移	2011年度基準 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
	1,276,172	1,186,795	1,224,164	1,147,560	1,142,040	1,156,086	1,227,939

※ 電力の二酸化炭素排出量換算値 0.514kg-CO2/Kwh



温室効果ガス排出割合

項目/単位 (%)	使用エネルギー別CO2排出割合						
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
電力	91.33%	92.37%	94.67%	94.17%	94.61%	94.63%	94.37%
軽油	2.26%	2.37%	2.27%	2.40%	2.25%	2.13%	2.09%
灯油	2.19%	2.79%	2.38%	2.32%	1.61%	1.61%	1.95%
ガソリン	1.02%	1.10%	1.06%	1.11%	1.50%	1.54%	1.57%
LPガス	0.02%	0.02%	0.02%	0.02%	0.03%	0.01%	0.02%
A重油	3.19%	1.38%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

□ 環境活動の取り組み計画と評価
(1) 廃棄物排出量の削減

環境目的及び目標			達成	実行
2018年度			達成	実行
目的	目標	達成	達成	実行
1 廃棄物削減	産業廃棄物の削減 ゼロゴミの削減	産業プラプラスチック等立派・主体材削減率 本社10%以下・親族工場10%以下	達成	実行
2 省エネ	電力削減 CO ₂ 削減量の削減	材料削減率30%以上の削減 削減率を基準とする	達成	実行
3 省資源	紙・紙類使用量の削減 紙・紙類使用量の削減	削減率を基準とする 削減率を基準とする	達成	実行
4 汚染防止	浄化槽の汚染 浄化槽の汚染	汚染防止対策の実施 汚染防止対策の実施	達成	実行
5 環境調和	騒音の低減 騒音の低減	騒音防止対策の実施 騒音防止対策の実施	達成	実行
6 災害対策	非常時の対応 非常時の対応	非常時の対応の実施 非常時の対応の実施	達成	実行
7 教育・啓発活動	環境教育の実施 環境教育の実施	環境教育の実施 環境教育の実施	達成	実行

作成日 2018.4.10
改定 2018.4.10

各目標を掲げて削減に取り組んでいます。

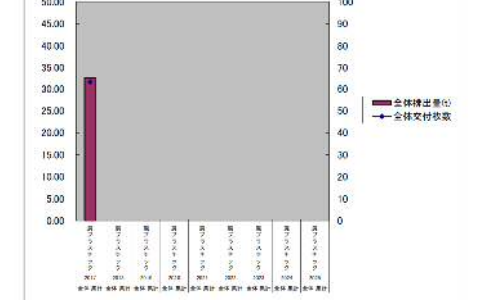
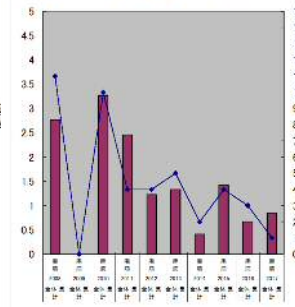
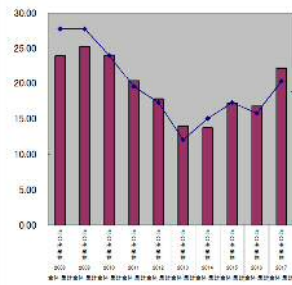
(2) 産業廃棄物の管理

・2012年より電子マニフェスト導入により、データの透明性が確保され法令の遵守の徹底が図られています。

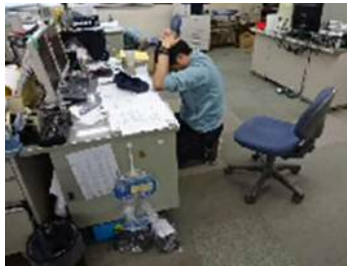
場所	年度	種類	全体排出量(t)	全体交付枚数	削減率(%)
全体	2008	社会廃棄物	23.97	37	100.0%
全体	2009	社会廃棄物	29.28	47	88.5%
全体	2010	社会廃棄物	24.05	32	91.2%
全体	2011	社会廃棄物	20.33	26	89.5%
全体	2012	社会廃棄物	17.77	23	88.8%
全体	2013	社会廃棄物	13.93	18	125.0%
全体	2014	社会廃棄物	13.68	20	115.0%
全体	2015	社会廃棄物	17.12	23	91.3%
全体	2016	社会廃棄物	16.76	21	128.0%
全体	2017	社会廃棄物	22.21	27	

場所	年度	種類	全体排出量(t)	全体交付枚数	削減率(%)
全体	2008	廃油	2.77	11	0.0%
全体	2009	廃油	0	0	#DIV/0!
全体	2010	廃油	3.27	10	75.2%
全体	2011	廃油	2.46	4	50.0%
全体	2012	廃油	1.23	4	108.3%
全体	2013	廃油	1.32	2	30.0%
全体	2014	廃油	0.41	2	142.4%
全体	2015	廃油	1.42	4	162.9%
全体	2016	廃油	0.68	3	59.9%
全体	2017	廃油	0.85	1	

場所	年度	種類	全体排出量(t)	全体交付枚数	削減率(%)
全体	2017	社会廃棄物	32.5	63	0.0%
全体	2018	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%
全体	2019	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%
全体	2020	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%
全体	2021	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%
全体	2022	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%
全体	2023	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%
全体	2024	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%
全体	2025	社会廃棄物	0.00	0	ADN/0%



緊急事態想定訓練
地震を想定した訓練の実施



□ 環境関連法規制等の遵守評価

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

評価実施日 2018/3/31

適用される法規制	適用される法規制(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃油 等)	○
騒音規制法	コンプレッサー、成形機	○
消防法	指定可燃物、灯油	○
水質汚濁防止法	重油、機械油 【事故時】	事故なし
フロン排出抑制法	業務用空調機 【1.簡易点検4回/年以上 2.定期点検 定格出力7.5kw 以上の設備 3.廃棄時】	1.簡易点検 異常なし 2.定期点検 1台実施

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去ありません。